

ブック村だより

特集 インターネットを活用しよう

本学コレクション紹介(5)

『算術、幾何、比と比例大全』初版, 1494年	高橋 哲雄 (1)
インターネットを活用しよう	(2)
ぶっくす・なう	(4)
『ストリート・キッズ』	谷岡 一郎
『流通戦略の新発想』	南方 建明
『デフレとインフレ』	佐和 良作
『図像学入門』	下山 晃
学生の声	大川 量平 (6)
	辻田 芳宏 (6)
よくあるご質問	(7)
インフォメーション・開館案内	(8)



本学コレクション紹介(5) ルカ・パチョーリ 『算術、幾何、比と比例大全』初版, 1494年(その2)

本書がパチョーリでなくピエロ・デラ・フランチェスカの作なのだという盗作説は、まったく無根とはいえない。ピエロは商家の出で、家業を継ぐため応用数学を学び、簿記にも縁が深かった。本書をものする素養は十分あった。

しかし、盗作説を唱えるヴァザーリは相当くせのつよい人物として知られている。嫌いとなると中傷も辞さず、またときに記述は正確を欠いた。彼の非難を裏づける史料的根拠はない。

しかも、パチョーリは当時もっとも尊敬された数学者だった。あの「万能の天才」レオナルド・ダ・ヴィンチの親友で数学の師だった。パチョーリには彼の挿図の入った本もある。それだけの力量の持主が師の業績を横領したりする必要があったらうか。

どうもヴァザーリには分がわるい。だのに、なぜか彼への反論はいまだに見られない。なぜだろうか(つづく)。(名誉教授・高橋 哲雄)

特集

インターネットを活用しよう

まず手順をしよう

図書館では、6階のコンピュータ室と、貸出用ノートパソコンでインターネットが利用できます。ともに6階のカウンターで学生証を提示し、手続を行って使用してください。一般登録利用者の方は利用できませんが、自宅等で活用の際に参考にしてみてください。

ネットサーフィン初歩



パソコンを起動したら、デスクトップにある青い“e”のアイコンをマウスでダブルクリックします。（ブラウザが起動します）



大学のホームページが表示されます。ツールバーにある「検索」ボタンをマウスで1回クリックすると、ウィンドウの左側に検索窓が表示されるので、調べたい語句を入力して、「サーチ」ボタンをクリックします。検索結果は右の画面に表示できます。



他のサイトも同時に参照したいときは、ブラウザを複数起動できますが、メモリ消費が増加するため、動画などがあるサイトにアクセスした場合、PCの動作が遅くなることがあります。



応用1：キーワード検索

キーワードは単語で入力するのが基本です。例えば「西日本でアミューズメント産業を手がける企業・事業体」を調べるには、少なくとも4つの単語に分けて入力する必要があります。また、「アミューズメント産業」という単語で検索するより「娯楽産業」に言い換えたほうが良い場合もあります。

検索結果が多すぎるときには、キーワードを追加して絞込みます。この場合も、特殊な専門用語などは避け（絞りこまれすぎて0件になる場合がある）て、より効果的な単語を選んで入力します。

他に、サーチエンジンには様々な検索のバリエーションがあるので各サイトで確認してみましょう。

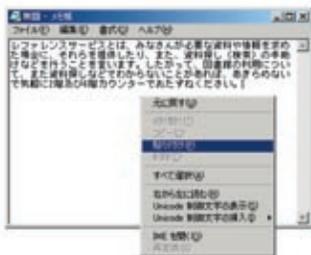
応用2：カット&ペースト

複数のサイトからの情報を参考にしたり、引用するとき、全てをプリントアウトすると大量に用紙が必要になり、また後で紙からの入力や書き写しが必要になります。そこで、必要な情報だけをブラウザから切り取り、他のアプリケーションソフトに貼り付けておく方法をお勧めします。

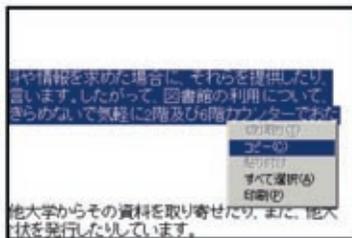
まず「メモ帳」を起動しておきます（「スタート」メニューから「プログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」を選択）。インターネットで参考したい情報が見つかったら、その文章をマウスの左ボタンを押しながらぞっていきます。（文章が反転表示される）



次に、反転した文章上でマウスの右ボタンを押し、表示されるメニューから「コピー」をマウスで選択します。（文章がパソコンに記憶されます）



次に「メモ帳」を開き、ウィンドウ内でマウスの右ボタンを押して、表示されるメニューの「貼り付け」を選択すると、文章が貼り付けられます。※ワードやエクセルでも同じことができますが、文章だけでなくwebページ側の書式情報まで貼り付けられるため、表示が乱れることがあります。



いろいろなサーチエンジン

最初に述べた検索方法以外には、サーチエンジンのサイトにアクセスして、そこから検索を行う方法が一般的です。ブラウザのアドレスバーにURLを入力すると、すぐにサイトが表示できます。主なサイトのURLを紹介しておきます。

- ・Yahoo Japan → <http://www.yahoo.co.jp>
- ・google → <http://www.google.com/intl/ja/>
- ・goo → <http://www.goo.ne.jp/>
- ・infoseek → <http://www.infoseek.co.jp/>

同じ検索をしても、サーチエンジンによって結果が異なる場合があります。それぞれの特性を理解して使い分けてみましょう。最近は複数のエンジンを横断検索できるサイトも登場しています。

役立つデータベース

インターネットで流通している情報が正しいものかどうかは、自分の責任において判断する必要があります。また図書などと同様に著作権が存在します。引用にあたっては十分に注意しましょう。

公的機関や学術研究機関、あるいは社会的に認知度の高い企業、団体のサイトは調査や参考資料として活用できます。論文作成にはこんなサイトがよく使われています。

- ★NIKKEI NET：日本経済新聞社のビジネス・経済情報サイトです。
- ★総務省統計局：国勢調査をはじめ公的な調査データを閲覧できます。
- ★NII Webcat：全国の大学図書館の所蔵資料を検索できます。
- ★電子政府：各省庁へのリンクと、法令・政策DBへのリンクなど。

図書館ホームページのリンク集も参考にして下さい。

『ストリート・キッズ』

(創元推理文庫, 1993.11)
ドン・ウインズロウ 著, 東江 一紀 訳

日本と世界で、「この人が本を出版したら無条件で2冊買う(1冊は保存する)」という著者は15人くらいいる。その中でも最近注目株はドン・ウインズロウ。表題の『ストリート・キッズ』はそのデビュー作である。

主人公のニール・ケアリーは感性豊かで回転の早いコロンビア大学の大学院生。幼少の頃に捨てられていたのをプロの探偵ジョー・グレームが育て、探偵術のABCからXYZまで教え込んだ。この探偵術がまたおもしろく、痛快な活躍をする中で、目からウロコの考え方がちりばめられている。

文体がまたおもしろく(つまり東江一紀の訳がうまい)、表面上の会話のウラで、ニールが感じたこと、心の動きが紹介される。「センスあふれ

るヘラズロ」とでも言え
ばちょうどいいか。おもしろいから一度読んでみられたし。

『ストリート・キッズ』
を読めば残り2つの続編
も読みたくなることは保証
できるが、そのニール・
ケアリー・シリーズ以外
にもいくつかの作品があり

どれもおすすめ。個人的にはアメリカの1950年代、60年代を舞台とした『歓喜の島』と保険屋が主人公の『カリフォルニアの炎』を選ぶ。ただしこの2年間、ウインズロウの新作を見掛けないので、どうなったのか気にしているところである。

(学長 谷岡 一郎)



『デフレとインフレ』

(日経文庫, 2003.7)
内田 真人 著

物価の持続的な下落を表すデフレーション(デフレ)、逆に物価の持続的な上昇を表すインフレーション(インフレ)は経済にとっても個人の生活にとってもきわめて重要な問題である。

物価は、しばしば経済の体温計と呼ばれることがある。物価が上がっているか下がっているかが、景気動向を把握する際の一つの判断材料になるからである。わが国は、現在なおデフレ状態に陥っており、物価の面から見る限り1920年以來の深刻な状況であるといっても良い。

本書は、日本銀行の中堅幹部として活躍している著者が歴史的な物価の動向を平易な文章で分かりやすく解説した書である。明治に始まり、現在の最新の論点にいたるまで、さらには諸外国の物

価動向をも含め、物価に関することは、全て網羅的に丁寧に著述されている。

全体で3部の構成となっているが、I部、II部では物価に関する基礎的な知識を解説し、III部では最新の論点である、「インフレターゲット導入の是非」、「財政政策は拡大すべきか」、「150円程度の円安に誘導すべきか」などについて、賛成論、反対論を併記している。著者はどちらに分があるかについて触れていない。判断は読者に任せるということであり、その分、考えさせる書でもある。

小説のようにぞくぞくするようなところはないが、経済を理解していく上で必要な物価に関する基礎知識を習得するための最適な書である。

(経済学部 教授 佐和 良作)



『流通戦略の新発想』

(PHP新書, 2003.3)
伊藤 元重 著

「流通業の動きを見れば経済の大きな流れがわかる」。流通業は生産者と消費者を結びつける存在であり、規制緩和・情報化・グローバル化・都市の構造変化など様々な側面と密接に関わりをもち、日本経済の動きが色濃く反映されている。

本書は、先端的な流通企業10社の取材をもとに書かれたもので、「企業の戦略に奇策はない。効率化の追求と付加価値の形成のどちらに重点をおくかは企業によって違うが、両者を実現できた企業が高い業績をあげる」というのが結論である。

効率化の追求では、国際的小売業との競争力格差を埋めるべく規模の拡大を目指す「イオン」、過去の販売データを取るためではなく、市場の状況について仮説を立て、それを検証するためにP

OSを活用する「イトーヨーカ堂」、物流の効率化に重点をおく衣料品専門店チェーン「しまむら」、単品経営にこだわり大幅な値下げを実現した「吉野家」など。

付加価値の形成では、若者の心をつかむ商業施設を展開するデベロッパー「森ビル」、直営のテーマパークともいえる“おかげ横丁”で付加価値を高める「赤福」、最先端のファッション提供と自社カードによる顧客対応を図る「伊勢丹」、ライフスタイルを提案し若者を飽きさせない「丸井」など。

流通業は変化対応型の産業であり、社会や経済の大きな変化の方向を読み、それにビジネスの形態をいかに合わせていくかが問われている。

(総合経営学部 教授 南方 建明)



『図像学入門』

(集英社文庫, 1998.4)
荒俣 宏 著

荒俣宏といえば、関西テレビで水曜日に放映中の「トリビアの泉：素晴らしきムダ知識」のケツタイな出演者として、あるいは『帝都物語』の原作者として、ツトに有名である。陰陽師の研究者だと思っている人も居れば、「翻訳家じゃなかったの?」と言う人、さらには博物学者だと思っている人も居るかもしれない。しかしほくに言わせれば、寺山修司や澁澤龍彦や荒俣宏のような上質な好事家(こうずか)は、「～屋」だとか「～学者」といった呼び名を与えた途端に、「そうではなくなる輩」なのである。

もし一緒に遊び呆ける機会を持てたなら、こうした類の「おもしろがり屋」との一瞬一瞬、ひとコトひとコトは、たぶん一生忘れがたいものにな

る。ただ、寺山の場合には、いつの間にか「スリリ!」と別な場所に隠れんぼされてしまって、「一杯食わされた!」ということになるだろうし、澁澤とだったらいつの間にか一人一人が迷宮入り、となるだろう。それに対して、荒俣宏の場合には

いつまでも一緒に居て次々と話題が盛り上がり、お金がスッカランになるまで何か月でも呆け倒す、ということになるような気がする。今回おすすめしている本書は、そんな荒俣型ワンダーランドへの最も手軽な入門書である。世界地図の起源や「目の経済学」、色彩と象徴の文化、そしてグリコの秘密など、どこから読んでも「おいしい」快作である。

(総合経営学部 助教授 下山 晃)



『癒しのメディアセンター』

経済学部 経済学科2年
大川 量平

私が大商大に入学して一番嬉しかったことは、昨年までの旧図書館からメディアセンターに変わったことです。ブースや書籍に至るまで、何もかもがグレードアップしていたのです。それからというものわたしは、自分の家のようにくつろいで利用しているのです。

調べ物を探すことに使用することはもちろん、音楽・ビデオを視聴するときもほとんどセンターを利用しています。私が利用しているものは6Fのパソコンルームです。下宿しているところにはパソコンがないので、本当に嬉しいです。しかも6号館とは違い、閉館まで使用可ときたものだから泣けてきます。このセンターに足を運ぶ理由は

まだそれだけではなく、全体的にとても広く疲れが癒される場所。つまり私から見て言うと、このセンターは高級セラピーなのである。ですから私の気分がモヤモヤしていた時、孤独を感じた時、ふと気がつけばここにいるのです。ここにくれば時が経つのも早く感じ、すべての事が時と共に洗い流される感じがするのです。センター内での飲食禁止はかなり痛いのですが、もしもOKしてしまったら、お菓子やジュースの匂いがセンター中に広がるのが目に見えているので、その点はいたしかたないことだと目をつぶっています。

試験前にもよくここを利用していますが、やはり人がたくさん来ていて、座席の確保はかなりむずかしく、いつもがっかりしています。しかしそれだけ皆がセンターを愛している証拠なのです。メディアセンターよありがとう。これからもよろしく。



『夜長の秋に』

総合経営学部 経営学科2年
辻田 芳宏

今年の夏休みは冷夏に始まり盆明けからの厳しい残暑、そして彼岸から一転して涼しいを通り越して肌寒いと云う何が何だかよく分からないものでした。そんな中、レポートなどの宿題以外で自発的に多くの本を読まれた方はどのくらい居られたのでしょうか？ 私はというと夏休みの間、ほとんど夏バテで世に云うところの垂れパンダのようにゴロゴロと寝て暮らす毎日、わずかに数冊しか読めませんでした。

しかし、これから季節は読書の秋、秋の夜長へと進んでいきます。その夜長の就寝前の数十分、寝床で気に入った本に親しんでみてはいかがでしょうか。特に新書など。新書はあらゆるテーマに

ついて発刊されており、その分野の事を知る、もしくは学習する上で最適の手軽な入門書です。広く浅い知識を手に入れたい時にも、これから1つの事を深く研究したいがどんなテーマにするか悩んでいる時にも、お勧めできます。

しかも本はわざわざ買わなくも、あなたのすぐそば、メディアセンターに幾らでもあるのです。ここには宝物がぎっしり詰まっていて皆に読んでもらえるのを今か今かと待っています。

図書館と云うとその昔はお堅い厳めしい、読んでも内容のちっとも分からない本がたくさん並んでいて薄暗くカビ臭いところ、といったイメージもあった様ですが、ここはそうではありません。明るく清潔な上に、誰でも親しみやすい新聞・雑誌、優しい本から専門書まで何でも取り揃えて、それに最新の視聴覚機器やPCまで備えています。足を運ぶ度に自分の教養が深められ、世界が広がる事をきっと実感できるはずです。長い秋の夜が「おいしい」秋の夜になること、間違いナシです。

よくあるご質問

今回は新図書館に移転後、学生の皆さんからよく受ける質問のいくつかにお答えします。

休み時間に投函しようとしたら鍵がかかっていたのですが…返却ポストの利用方法を教えてください。

返却ポストは、閉館後や休館日用です。普段はカウンターにどうぞ。返却日は次の開館日になりますので、休暇期間中に延滞しないよう、気を付けて下さい。

さっき書架で見かけた本を「予約」して取り置きしてもらうことはできますか。

「予約」とは、利用を希望する資料が「貸出中」の場合、次に利用したい人が「予約」処理を行うと、資料が返却された際、カウンターで取り置きできるシステムの事です。

貸出中かどうかは公開端末の検索画面から確認できます。「予約」も同じ画面からおこなえます。

操作の詳細はマニュアルをご覧になり、わからない場合はカウンターでお尋ねください。

図書館においてあるコンピュータではどんな事ができますか？

図書館には、検索用端末が各階に計14台、レポート作成や研究・調査用のコンピュータがコンピュータ室に25台、また貸出用のノートパソコンが6階カウンターに10台、それぞれ用意されています。検索用端末では、図書館の資料検索およびDVDサーバ（『MAGAZINE-PLUS』（雑誌情報データベース）や『判例体系』などの各種データベース）など各種検索、および利用者情報の照会ができます。

コンピュータールームのパソコンおよびノートパソコンはインターネット接続が可能です。書類作

成や画像編集に必要な基本ソフトも使用できます。これらのパソコンを利用するには手続が必要ですので、いずれの場合も6階カウンターに学生証を提出して、利用の旨申し出て下さい。

外部の友達と一緒に図書館で勉強することはできますか？また、卒業してからも図書館を利用できますか？

一般の方及び卒業生は利用登録が必要となります。一般の方が登録するためには、身分証と写真（3×4cm）1枚、および年間登録料1,000円が必要です（卒業生は無料です）。これらを2階のメインカウンターの登録受付までご持参下さい。

図書の出借も可能ですので、詳細は図書館ホームページをご覧になるか、職員におたずねください。

雑誌の探し方について教えてください。

今年4月より図書館分室がオープンし、雑誌の多くはそちらに置いています。図書館2階フロアのコーナーにない雑誌については、分室カウンターで申し出て下さい。

また「蔵書検索」「雑誌検索」メニューからも検索できますが、すべてが入力されているわけではありませんので、一度カウンターでお尋ね下さい。なお、雑誌記事は図書館ホームページの「CD-ROM検索」メニュー、および国立国会図書館ホームページの「雑誌記事索引」メニューより検索することができます。

授業のない日も、図書館は開いていますか？

開いている時もあります。図書館の開館日については、図書館ホームページの「図書館カレンダー」をご覧になるか、図書館で配布している開館日一覧表および掲示で確認して下さい。

図書館インフォメーション

◆図書館における文献複写について

国公立図書館協力委員会と著作権管理事業団との協議により、利用者の皆さんに対し、以下のように著作権遵守の徹底が義務付けられることとなりました。

- ・複写は図書館資料に限られます。
- ・複写される方は必ず備え付けの「文献複写申込書」に記入し、カウンターに提出して下さい。
- ・コピー機前に掲示された「図書館のできるコピーの範囲」に基づいて複写を行って下さい。

範囲を超えた複写は違法行為となりますので、必ず守って下さい。

◆卒論作成用の特別貸出について

4年生の皆さんは、卒業論文作成のための特別貸出ができます。延長手続きを行わずに、1ヶ月借りることができます。希望者は、貸出時にカウンターまで申し出て、手続きを行って下さい。

◆卒業後も図書館を利用できます

卒業生は利用者登録をすると、1年間無料で図書館を利用することができます。希望者は、身分証明書に該当するもの（免許証、保険証など）および写真（3cm×4cm）1枚を持参の上、図書館2Fカウンター「利用者登録受付」まで申し出て下さい。

◆冬期休暇期間中の長期貸出について

冬休みの学習・研究用に長期貸出サービスを行います。実施期間中は図書の貸出すべてに適用されます。手続きは通常どおりです。詳細はポスター・掲示板でお知らせします。

開館案内

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

●は休館日です。

上記以外にも臨時休館日を設ける場合があります。

詳細は学内掲示・モニター・ホームページ等でお知らせ致します。

開館時間は平常通り（月～土 9：00～20：00）です。

大阪商業大学図書館報「ブック村だより」第23号 平成15年11月30日 発行 大阪商業大学図書館
〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10 電話(06)6781-5280 FAX(06)6781-0089
e-mail : lib@daishodai.ac.jp ホームページアドレス : <http://www.lib.daishodai.ac.jp>

ISSN 1346-8928